

第2回 小林小学校・平尾小学校 学校適正配置検討会議 議事要旨

1 日時

令和7年10月21日（火） 19時から20時45分

2 場所

小林小学校 多目的室

3 出席者

（委員）

喜納委員、木村委員、鷺見委員、谷田委員、森委員

上村委員、國頭委員、西岡委員、西村委員、松下委員

（事務局）

村田 大正区担当教育次長（大正区長）

北吉 大正区教育担当部長（大正区副区長）

前田 大正区教育担当課長（大正区役所こども・教育担当課長）

二階 大正区教育担当課長代理（大正区役所教育施策担当課長代理）

吉武 大正区教育政策課担当係長（大正区役所保健福祉課担当係長）

高岸 大正区教育政策課（大正区役所保健福祉課）

奥田 教育委員会事務局学校適正配置担当課長代理

松下 教育委員会事務局学事課担当係長

海谷 教育委員会事務局指導部指導主事

（オブザーバー）

山本 小林小学校長、飯塚 平尾小学校長、石田 大正中央中学校長

4 議題

- （1） 学校名案及び学校名の決定方法について
- （2） 再編整備後の通学路について
- （3） 校章・校歌・標準服等の検討事例について
- （4） 学校の魅力化について
- （5） その他

5 会議資料

会議次第

【資料1】再編整備後の学校名案の候補について

【資料2】学校名アンケートの実施について（案）

【資料3】学校名アンケート（案）

【資料4】前回検討会議でいただいたご意見の実現性について（通学路安全対策）

【資料5】再編整備後の小林地域からの通学路（案）

【資料6】校章・校歌・標準服等の検討事例

【資料 7】他校での標準服

【資料 8】再編整備後の学校の魅力化案

【資料 9】小林小学校・平尾小学校 学校適正配置検討会議開催要綱

【資料10】小林小学校・平尾小学校 学校適正配置検討会議メンバー名簿

6 議事要旨

(1) 事務局より説明

事務局から、議題（1）から（4）について、資料に沿って説明を行った。

(2) 質問・意見等の概要

【議題 1：学校名案及び学校名の決定方法について】

(教育担当課長代理)

学校名案の候補について、資料 1 のとおり検討会議メンバーの皆様からいただいたご意見を踏まえて 4 つお示ししたが、ご意見をお伺いしたい。

(委員)

これでよいと思う。

(教育担当課長代理)

学校名案の候補については、この 4 つとさせていただく。

学校名の決定方法については、前回会議での議論を踏まえ、アンケートの実施について提案させていただいたが、まず、アンケートの対象者についてご意見をお伺いしたい。

(教育担当課長)

最近では児童に意見を聞いて、学校名を決定しているケースもあるので、区役所案としては、対象者は児童がよいと考えている。学年については全学年という案と、令和 10 年に統合する際に在籍する現 1 年生から 3 年生を対象とするという案がある。

(委員)

1 年生から 3 年生の子どもたちにはちょっと難しいのではないかな。

(委員)

私は児童と保護者にアンケートをとることがいいと思う。家族で提案できたらと思う。

(委員)

大人しか分からない歴史なども判断材料に入るので、児童と保護者を対象にしたアンケートが良いと思う。1 年生から 3 年生の児童にアンケートをとって、判断ができるのか疑問。

(委員)

アンケートを家に持ち帰るのであれば、保護者の意見も入るので、1 年生から 3 年生を含めてもいいと思う。

(平尾小学校長)

アンケートの言葉が難しい。1 年生、2 年生に地域という言葉は分からないと思う。

(委員)

学年で理解度が違うので、言葉の使い方は考えてほしい。

(区担当教育次長)

1 年生と 6 年生それぞれ分かりやすいように、学校の先生にもお聞きしながら考えたい。

(委員)

前回の会議で、平尾地域からは平尾小学校がいいのではないかという意見があり、小林地域からは大正中央小学校がいいのではないかという提案があった。今回、名前の候補が増えてびっくりしたが、小学校は地域のシンボルであり、50年、70年といった歴史のある学校だと卒業された方とか、世代を超えて口ずさめる歌は校歌になると思う。今回、小林小学校がなくなることは、小林地域の方にとってはすごく残念で、胸の痛い話と思うが、これが逆の形になっていたとして、小林地域の方は小林小学校の名前をなくして学校名を変えたほうがいいのか。

(委員)

大正中央中学校区として、新しい学校名で平尾と小林と一緒にやったほうがいいのかと思う。

(委員)

新しいことで盛り上げていこうという思いだから、逆であったとしても、小林って挙げなかったと思う。

(委員)

名前を変えようという意見が出てきたら、その意見は受け入れると思う。新しい未来に向けて、今までのこだわりよりも新しいことを考えた方がいいと思う。

(委員)

同じ名前を続けるのはよくないと思う。新しくなるのだから、新しい名前だと思う。

(委員)

私は、小林にあるんだったら小林小学校のまま残した方がいいと思う。平尾小学校の名前を残そうと思えば残せたのになくされると、平尾地域の方や卒業生の悲しみは大きいと思う。

(委員)

平尾は残るけど、小林はなくなるのだから平尾の名前のほうがいいのかと言われてるようにしか捉えられない。みんなでアンケートをとってやるほうがいいのかと思う。

(委員)

子どもたちと保護者とのアンケートで決まったことに対しては、何も言うつもりはない。

(委員)

小林の子でも平尾って書くかもしれない。

(委員)

学校名を新しい名前に変えるパターンもあるし、変えずに続行しようというパターンもあって、それを決める会議だと理解しているが、その点は違くないか。

(教育担当課長代理)

前回会議で、アンケートを取りましょうということで確認いただいた。

(委員)

アンケートが、新しい学校の名前として、平尾小学校があがっているのに違和感を感じた。

(教育担当課長代理)

学校再編というターニングポイントを迎えるという意味で新しいという文言を使っている。

(委員)

全学年と保護者の方に、広く採ったほうがいいのかと思う。児童は学校で採ってもらうとか。

(委員)

家の方がよいのでは。アンケート集計は平尾が100なら小林も100でお願いしたい。平尾の

子どもの方が多いので。

(教育担当課長)

集計方法は後ほど伺います。対象者については、全学年の児童・保護者というご意見が多いが、いかがでしょうか。

(委員)

1つずつ決めていかなければというのは分かるが、項目ごとには考えられない。集計方法について、例えば平尾の意見は2分の1にするとすると、対等ではないと思う。実数で集計というのが一番いいのではないか。

校歌の覚え直しであったり、小林の子も平尾の子も少なからずストレスがある。そのような中で教育が滞って、学級崩壊に至ってはいけない。学校名が変わることで、いい影響悪い影響何が想定されるか両校長に伺いたい。

(小林小学校長)

新しい校歌になれば、令和9年度のうちに、新しい校歌を覚える必要がある。

(平尾小学校長)

各学年、10名強の転入生を迎えるという形になるが、転入生を迎える学校としては、全て新しいというよりも、今までの流れの中に転入生を迎える方が指導しやすい。

(委員)

教育委員会の方針で統合するのだから、教育委員会も支援してくれるのではないか。

(学校適正配置担当課長代理)

学校名が変わって事務的な作業が増えるのであれば、インセンティブ予算を活用してスクールサポートスタッフを配置するといった支援が可能である。

(委員)

①の両校の回答数を同数に揃えた場合の計算方法を教えてほしい。

(教育担当課長)

A校の回答数が200、B校が300というのが実数だった場合に、児童数の差を勘案してA校の数に1.5を掛けて同数にする形を考えている。

(委員)

出てきたものに対してパーセンテージで出せば、それでいいのではないか。

(委員)

小林の方が必ずしも平尾小学校以外を選ぶとは限らないし、平尾の方が必ずしも平尾小学校を選ぶとは限らない。小林の方で平尾小学校を選択する方がいたら、カウントが1ではなくなってくるわけで。同数にすると意向と数字にずれが出るのではないか。実数で集計したほうが正しいと思う。

(委員)

アンケート結果を参考に決めるということであれば、最初から数字を変えなくても、実数を見て判断すればいいのではないか。この件は、今日は持ち帰らずにこの場で決めるのか。

(区担当教育次長)

アンケートの実施方法については、この場で決めさせていただきたい。

(教育担当課長)

アンケートの集計方法について、実数とするか同数に揃えるか、先ほどご意見があった割合とするか、3つご提案しているがいかがでしょうか。

(委員)

数の操作はされないことがフェアだと思う。実数で集計するのがいいと思う。

(委員)

私は、パーセントで出してほしい。小林が少なくても1票の格差があるので、それを調整しようということ。

(委員)

小林も人数は少ない。パーセントでいくほうが私はいいと思う。その方がフェアだと思う。

(委員)

小林と平尾の人数を揃えてやってもいいのではないかと思います。

(委員)

新しい学校として始めるのに何がいいかということでアンケートをするのであれば、児童や保護者が1票ずつ回答して、その子たちがいいようにしたらいいのではないか。そこに何か操作をするということは、小林の意見がとか平尾の意見がということにこだわりすぎではないか。

(委員)

調整ではなくて、本当の数字で検討したほうがいいと思う。

(委員)

アンケートの結果で決定ではないのであれば、実数で数字を出してから考えたほうがいい。

(委員)

数を揃えてほしい。実数で計算するのであれば、パーセントで計算しないとおかしくなる。あと、学校名案が4つ出ているが、これは各メンバーが出したもので、これを主に考えていただきたい。何のために名前を出したのかと思うので、この分でアンケートを採ってほしい。

(委員)

私は、数を揃えてもいいし、パーセントでもいい。

(委員)

アンケートを集めたときに、割合が出れば、それでわかるのではないか。

(教育担当課長)

確認していく。まず、学校名の対象について、ご意見を踏まえると、今回、提案させていただいた4つの学校名でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

(教育担当課長)

次に、集計方法について、実数とするか同数に揃えるか、あと、実数を基に、学校名ごとに割合を出すという考えが提案されているが、いかがでしょうか。

(委員)

そのパーセントというのはどういう感じなのか。

(区担当教育次長)

例えば、平尾小学校の児童で平尾がいいと思った人が50%であれば50%、つつじ小学校がいいなと思った人が25%であれば25%というふうに、それぞれパーセントで見るということ。

(委員)

その方が、割合としてみんなが何を選んだかというのが正しく出ると思う。

(委員)

平尾の子の何%がこれを選んだ。小林の子はそこに何倍とかいう話ではないということか。

(区担当教育次長)

パーセントで見るという意見が多いので、検討会議としてこれでいしましょうか。そこで、どう議論するかということですね。

(委員)

では、投票で決まるのではなく、投票結果を基に話し合うということか。

(教育担当課長)

分母の数は訂正せずに、実数をもとに分母を出して各学校名の割合を出していく。そこで割合が高い部分、低い部分で比べて、学校名をその割合を見ながら決めていくという方法でどうでしょうか。また、集計方法は割合で集計するということと、対象者は、小林小学校と平尾小学校でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

(教育担当課長)

次に、児童は全学年という形でよろしいでしょうか。

(区担当教育次長)

ただ、文章は、1年生にも分かりやすい内容に。

(教育担当課長)

保護者を含めるかどうかについてはいかがでしょうか。

(委員)

児童と保護者でいいと思う。

(教育担当課長)

②の全学年の児童と保護者でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

(教育担当課長)

では、対象者については②の小林小学校・平尾小学校の全学年の児童と保護者とします。アンケートの内容は、学校とも調整した上で、修正案ができた段階でメンバーの皆様にお示しし、アンケートを実施させていただく。

(区担当教育次長)

学校の先生方に、1年生や2年生に分かる文章を教えてくださいたく協力をお願いしたい。

(教育担当課長代理)

議題1は、ご確認いただいた形で進めさせていただく。

【議題2：再編整備後の通学路について】

(教育担当課長代理)

再編整備後の通学路について、歩道橋の設置の可否や歩車分離信号の可否についてはご説明申し上げたとおり難しい。大正通の横断箇所は、100YENPLAZA付近の中央分離帯のある交差点ではどうかという大正警察からの助言もあり、提案させていただいているがご意見ををお願いしたい。

(区担当教育次長)

警察や建設局にはあつたが、力不足で申し訳ございません。小林西の方の子どもたちの数が再編時に何人いるかなどを勘案して、個別対応も考えていく必要があると思っている。

(委員)

100YEN PLAZAのところは中央分離帯があつて一番いいが、小林地域の見守り隊が減少してきており、小林歩道橋のところに2名ついた上で、ここに2名つくとなると厳しい。ガードマンをお願いしたい。

(区担当教育次長)

通学路の見守り体制は、小林、平尾の両地域に関わるので、軌道に乗るまではインセンティブ予算を使いながら、どのように軌道に乗せていくかということを平尾地域の皆さんとも小林地域の皆さんとも相談させていただきたい。

(委員)

小林地域だけではなく、サポート隊は高齢化してきている。

(教育担当課長)

スクールガードリーダーといったいわゆるボランティアでなく、有償で登校の見守りをやっていただくという方法もあると聞いているので、こうした事例も検討した上で考えていきたい。

(委員)

右折左折が一番事故が多い。中央分離帯がある右折がない交差点はここしかないが、車が多いので、両サイドに人をつけないと難しいと思う。

(委員)

外部にお金を払うよりも、保護者の方を募ってもいい。保護者は子どもたちの様子が分かる。働いている方もおられるが、子どものために1日だけ空けてもらえたら。

(教育担当課長)

通学路については、これからしっかりと議論をしてまいりたい。

【議題4：学校の魅力化について】

(区担当教育次長)

資料8でご説明させていただいたとおり、大正中央中学校下で児童がかがやくために、学校の魅力化を図っていきたいと考えている。新たな小学校と、大正中央中学校は、1小1中となるので、小中連携は重要である。こうした連携の取組にも予算をつけてやっていきたいと考えているが、大正中央中学校長から、現在または今後の取組みについて伺いたい。

(大正中央中学校長)

中学校を選ぶ時、部活動が子どもたちにとって1つの魅力になるということもあり、次年度ダンス部の創設を予定している。11月からまずは学校体育施設開放でダンスクラブを立ち上げ、そこに来た子どもたちがダンスの魅力を知り、そのまま来年度ダンス部ができるなら大正中央中学校に入学しようとなればと考えて、一手打たせていただいている。

(教育担当課長)

魅力化は学校だけではなく地域の力も必要と思うので、例えば、地域との交流イベントなどで、子どもたち、学校と地域が一体となって大正中央中学校下を魅力的にできればと考えている。今後、メンバーの皆様にご意見をいただき、インセンティブ予算を活用できるところは活用して取り組んでいきたい。

【議題3：校章・校歌・標準服等の検討事例について】

(教育担当課長)

校章・校歌・標準服の今後の進め方については、今後、メンバーの皆様にご意見を伺いなが

ら、次の検討会議には進め方を提案して検討してまいりたい。議題 1 でかなり時間を要したが、今後も皆様からご意見を丁寧に伺いながら進めてまいりたい。

本日の議事は以上とさせていただきます。

(区担当教育次長)

本日は長時間にわたりご議論いただきありがとうございます。ご意見を聞いてますと、皆様の意見はそれぞれ正しいので、本当に悩むところです。誰にとって一番いいというのは、やはり子どもたちということになりますので、子どもたちのために何がいいのかということをまだまだ全員で侃々諤々議論しながら進めてまいりたい。

今日は、すごく実りあったと思います。一定の方向性が見えたと思いますし、皆さんの忌憚のないご意見をお伺いできたというのは、すごくよかったと思っています。

あと、新しい小学校となるのは令和 10 年 4 月ですが、それを待たずして、子ども同士、学校は学校で取り組んでいただけたと思いますが、地域も含めて子どもたちの交流や小林の地域、平尾の地域それぞれのコミュニティーに影響を与えることになりますので、コミュニティーをどうやって維持していくか、発展させていくかといったことも今後一緒に議論していきたいし、ここにいらっしゃらない、例えば青指の皆さんや保護者の皆さんとも、議論をしていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

(教育担当課長代理)

次回の会議は来年 2 月頃、開催場所は平尾小学校での開催を予定しています。

以上をもちまして、本日の検討会議を終了いたします。